

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		行政改革推進業務費 [使用料・手数料等の適正化（あり方検討）]										
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号	5				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	企画課					課	行政改革推進担当	係	課長名	木村 西		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	行 - 2				
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現							総合計画書 (ページ)	122				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	①基本方針に記載されている整理が必要な項目 →				①の項目数							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 検討した項目の方向性が決定され、適正化が図られている。 →				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 検討した項目のうち、方向性が決定した項目数							
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。 第5次行政改革大綱推進計画の取組項目である「使用料・手数料等のあり方」について東大和市使用料・手数料等検討委員会及び東大和市使用料・手数料等検討部会を開催し検討した。 →				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①東大和市使用料・手数料等検討委員会の開催 ②東大和市使用料・手数料等検討部会の開催							
			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標				
対象指標	①の数値	項目	4	4	4							
成果指標	②の数値	項目	0	0	4							
目 標	②の目標値	%	—	100.0	100.0							
	目標値設定の考え方 見直した項目について方向性を決定し、使用料・手数料等の適正化を図る。											
活動指標	③の数値	回	① ②	① ⑤	② ②							
3 経費	事業費(実績)		円	122,432	124,797	183,972		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	122,432	124,797	183,972						
		特定財源(国・都・他)	円									
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.6	0.7						
		所要人数(再任用)	人									
	職員人件費(再任用以外)	円	1,648,800	4,986,000	5,866,000							
職員人件費(再任用)	円											
事業費+人件費		円	1,771,232	5,110,797	6,049,972							
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成29 年度									
	(2) 環境の変化		<ul style="list-style-type: none"> 行政改革大綱に基づく使用料・手数料等の料金見直しについては、使用料手数料等の適正化を目的に第1次行政改革大綱(平成9年度から)取り組んでいる。 「使用料・手数料の見直しにかかる基本方針」を平成27年6月に策定した。 第5次行政改革大綱推進計画の取組項目である使用料・手数料等のあり方検討において、使用料・手数料について、受益者負担の適正化を図るため負担のあり方等を検討し「使用料・手数料等のあり方における市の方針」を令和2年9月に決定したが、その決定に基づく実施時期については、新型コロナウイルス感染症の市民への影響などを考慮して改めて検討することとしている。 									

事業名称	行政改革推進業務費 [使用料・手数料等の適正化 (あり方検討)]			
担当部署・課長名	企画課	課	行政改革推進担当	係 課長名 木村 西

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	<ul style="list-style-type: none"> ・予算特別委員会で、「使用料・手数料等のあり方における市の方針」の実施時期について質問があった。 ・出前講座において、施設使用料を徴収することに反対する意見があった。 ・市長への手紙等で施設使用料を徴収することに賛成、反対する意見があった。 			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：⑧その他 (出前講座) 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 (広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他 ()		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
受益者負担の適正化、負担のあり方について、丁寧に説明する必要がある。				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容 (「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題 (3) を転記)			
	検討した項目について方向性を決定する。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	検討した項目について「使用料・手数料等のあり方における市の方針」を決定した。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題 (仕事の最適化・合理化の提案)				
<ul style="list-style-type: none"> ・あり方の検討に基づく使用料等の見直しの実施時期については、新型コロナウイルス感染症の市民への影響などを考慮して、今後の状況を見ながら改めて検討することとしている。 ・実施時期の決定後「使用料・手数料見直しに係る基本方針」(平成27年6月3日市長決裁)の改定事務を進める。 				
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)			
施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現				
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名 ()				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性 (「7 課題 (3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】			
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施時期の検討 ・実施時期の決定後、「使用料・手数料見直しに係る基本方針」(平成27年6月3日市長決裁)の改定事務を進める。 			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況把握 ・「使用料・手数料見直しに係る基本方針」(平成27年6月3日市長決裁)の改定 				